

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立開成小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童(中学校3年生生徒)

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学)

- | |
|--|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。 |
|--|

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

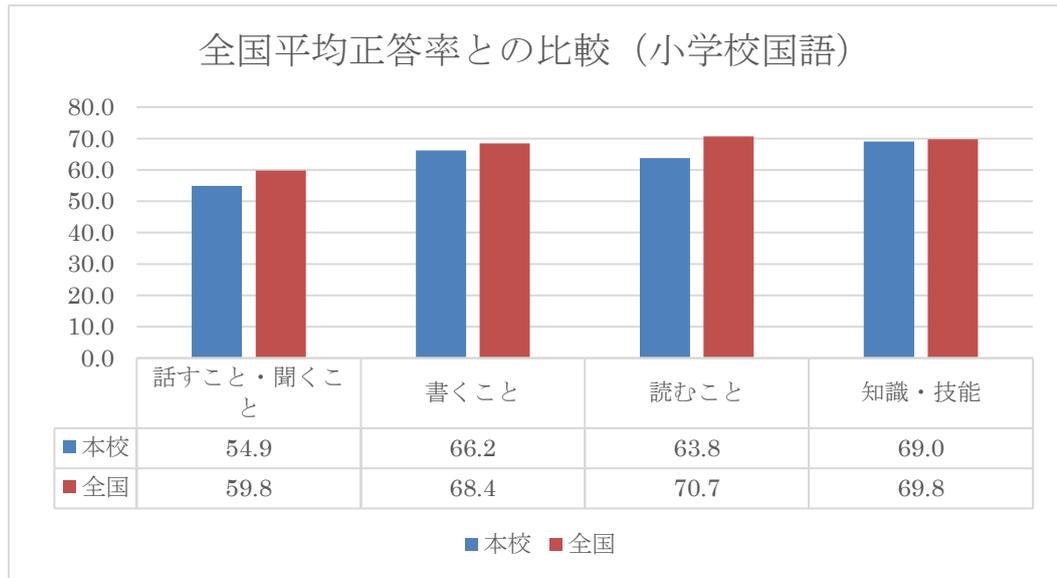
児童(生徒)に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心, 授業内容の理解度, 基本的な生活習慣, 家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組, 指導方法の工夫, 学校運営に関する取組, 家庭・地域との連携の状況 など

■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全ての領域で、正答率が全国平均を下回りました。特に「話すこと・聞くこと」と「読むこと」については、全国平均正答率を下回っています。選択式の問題では全国平均に近い正答率でしたが、記述式の問題では、正答率が全国平均より低くなっています。

(2) 成果と課題

文中の主語と述語の関係を捉えることや、情報と情報を関連付けて語句で図に表すことについては、正答率が全国平均を上回っていました。

記述式の問題での無解答率は低いのですが、資料の中から目的に応じて必要な情報を見つけ、自分の考えをまとめて書くことが難しいという傾向が見られました。「複数の条件に合わせて文章を書く」「キーワードを使って文章を書く」など、様々な条件を付けた「書く」活動を日常的に取り入れる必要があります。

(3) 学力向上のための取り組み

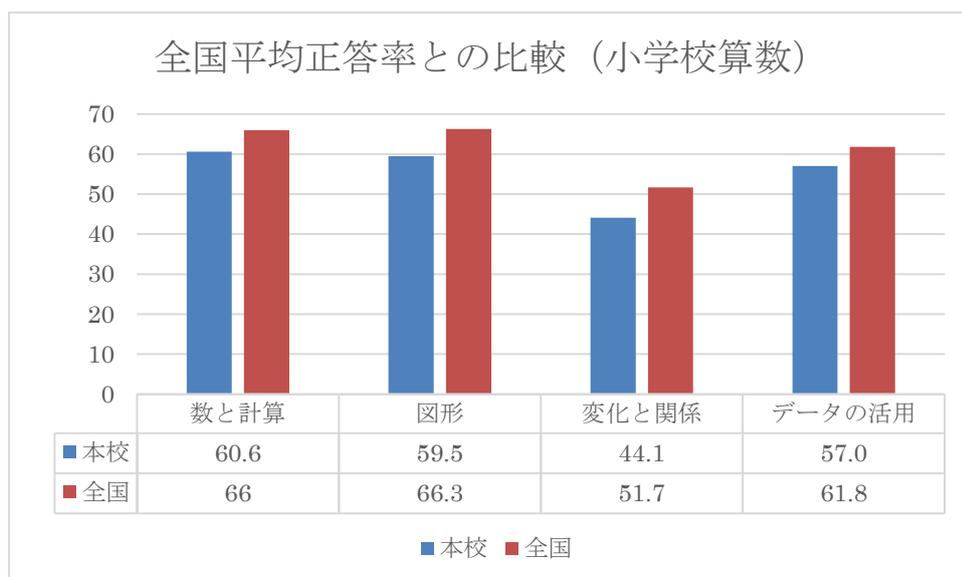
【学校では】

- 長文を読み、叙述に沿って人物像や場面を想像しながら全体像をつかむ学習に取り組みます。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながらかく機会を増やします。
- 様々な教科の学習で、文字数やキーワードを入れるなどの条件に合わせて書いたり、必要な情報と関連付けて自分の考えをまとめたりする活動を行います。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしていましょ。繰り返し音読をすることで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしていましょ。文学・科学・歴史・地理・・・いろいろな本を読み、様々な表現や用語に触れることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。図書館や書店に定期的にいくことも、読書習慣を付ける上でおすすめです。

2 算数(数学)



(1) 結果

全ての領域で、正答率が全国平均を下回りました。特に、「図形」と「変化と関係」の領域で正答率の低さが見られます。

記述式の問題での正答率が、全国平均を上回りました。無解答率が全国平均より低く、粘り強く取り組むことができていました。

(2) 成果と課題

折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまるかどうかを言葉と数を用いて答える問題や、数量関係を口を用いた式に表す問題で、正答率が全国平均を上回っていました。

しかし、問題文を読んでその場面の数量関係を捉えて立式する問題や、除数が小数の場合に除数と商の大きさの関係を問う問題に課題が見られました。数量関係や量感を捉え、答えの見当をつけることに課題が見られました。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 普段から算数用語を活用し、生活に根ざした問題に取り組めます。身近な具体物と結び付け、生活場面とつなげて考えながら問題解決学習を行っていきます。
- 問題の答えを求めるだけでなく、式の意味を考えさせたり、自分で問題を作らせたりしながら、式・絵や図・数直線等を関連させて考える取り組みを行います。
- 授業では、「自力解決・学び合う活動・まとめ・振り返り」という一連の流れを仕組んでいきます。「自立解決」の時間を確保し、自分の考えをもって友達と学び合い、理解を深められるようにします。

【ご家庭では】

- お子さんの学習について、宿題プリントやドリル等をしている様子やテストをご覧になって、励ましや称賛の言葉をたくさんかけてください。
- 算数を好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と感じる経験をさせることが有効です。「お菓子分けでわり算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」等、身の回りには算数の学習を使えるものがたくさんあります。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校(%)	全国平均(%)
朝食を毎日食べていますか。 A「食べている」 B「どちらかといえば、食べている」	A. 84.5 B. 9.9	A. 83.4 B. 10.3
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。 A「している」 B「どちらかといえば、している」	A. 42.3 B. 33.8	A. 39.7 B. 43.2
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。 A「している」 B「どちらかといえば、している」	A. 53.5 B. 33.8	A. 56.1 B. 35.5
自分には、よいところがあると思いますか。 A「当てはまる」 B「どちらかといえば、当てはまる」	A. 42.3 B. 40.8	A. 43.4 B. 40.7
将来の夢や目標をもっていますか。 A「もっている」 B「どちらかといえば、もっている」	A. 59.2 B. 23.9	A. 60.6 B. 21.8
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 A「当てはまる」 B「どちらかといえば、当てはまる」	A. 69.0 B. 26.8	A. 71.1 B. 24.8

朝食を毎日食べることに关しては、ほぼ全国平均と同等の結果でした。起床・就寝については、全国平均を少し下回りました。規範意識に関する項目では、肯定的な回答の割合が全国平均と同等の結果でした。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校(%)	全国平均(%)
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか A「できている」 B「どちらかといえば、できている」	A. 26.8 B. 46.5	A. 30.3 B. 50.4
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。) A「3時間以上」 B「2時間以上,3時間未満」 C「1時間以上,2時間未満」 D「30分以上,1時間未満」 E「30分未満」 F「全くしない」	A. 8.5 B. 12.7 C. 15.5 D. 33.8 E. 23.9 F. 5.6	A. 11.0 B. 12.5 C. 31.1 D. 27.0 E. 13.0 F. 5.3

家庭学習の時間については、「2時間以上(A+B)」が21.2%、「1時間から2時間程度(C)」が15.5%でした。一方で、「1時間未満(D+E)」「全くしない(F)」を合わせると63.3%となっており、かなり個人差があります。「家庭学習の手引き」をもとに、その重要性を保護者や児童に伝え、家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習(自学)についても、手本となる自学ノートを掲示したり、いろいろな自学の内容を紹介したりすることで、定着しつつあります。
- 「ぽかぽかの木」等の取り組みを通して、友達のよさやがんばりに目を向けさせ、認め、支え合う学校作りを進めます。教師も、ほめ、励ます指導・支援を行っていきます。

【ご家庭では】

- 家庭学習の時間や内容を示した「家庭学習の手引き」を今一度ご確認いただき、家庭学習の充実を図っていただきたいと思います。お子さんが、自分なりに目標を達成できた時は、褒めることで意識が更に高まると思います。
- 「早寝・早起き・朝ごはん実践週間」の活動も参考にしながら、基本的な生活習慣のリズムの確立やテレビ・ゲームの時間を決めるなど、家庭でのルール作りにもご協力ください。